

頭痛・てんかん・認知症・脳梗塞
再発予防・手足のふるえやしびれ感を中心に
内科・神経内科の診療をしている
さくらいクリニックの櫻井院長に
「認知症のケアのポイント」について教えていただきました。

＼教えて／

櫻井先生

認知症 編



サクライ タケヨ
院長 櫻井 健世

日本神経学会 神経内科専門医
日本てんかん学会 てんかん専門医
日本臨床神経生理学会 認定医(脳波分野)
日本内科学会 内科認定医

【認知症】と
認知症ではない【せん妄】、
その違いとは?

私たち人間の脳は頭蓋骨の中にあるため、直接外の様子を確認することができません。目や鼻、手などから得る刺激を正しく処理することで、周りの世界を認識しています。これを認知機能と言います。【認知症】は認知機能が持続的に障害され、日常生活に支障をきたす病気です。認知機能のうち記憶の障害がある場合、たとえばアルツハイマー型認知症がそうですが、新しいことを憶えられなくなります。

一方、【せん妄】は、発熱や睡眠不足、入院や身内の不幸など、普段と異なる状況をきっかけに一時的に認知機能が障害され、周りの世界の一部または大部分を適切に認識できなくなります。多くの場合には突然、つじつまの合わない言動が見られるようになります。認知症は基本的にゆっくりと進行しますが、せん妄は突然発症します。せん妄のほかに認知症と紛らわしい病気に高齢者のてんかんやうつ状態などがあります。普段と様子が違うときには、まずはかかりつけ医にご相談いただくのが良いでしょう。

認知症の患者さんが
不幸にならないために
〜周りの家族ができること〜

認知症に限らず、病気がもたらす不幸は【孤独になること】です。私たち人間は、人との繋がりの中できぞ幸せを感じることができます。人と人との繋いでいる

認知症の患者さんは新しいことが覚えられないでの、約束を守ることができなくなります。家族は同じ過ちを何度も繰り返す患者さんに、つい、怒ってしまうことがあります。なるべくいつでも怒らずに対応することが望ましいのですが、人間誰しも繋がっているという点でそれほど悪くないと考えています。問題は患者さんに対して家族が無関心になってしまいう状況です。約束が守れないことで人の繋がりを失ってしまうこと、取りわけ家族と繋がりが切れてしまい孤独になってしまいうことが、認知症という病気の恐ろしいところです。

家族や医療従事者がサポートをする目的は、治すためではなく、本人と社会との繋がりがひとつでも切れないようにすることです。

介護保険制度を活用することで、患者さんはケアマネやヘルパー・リハビリの先生をはじめ人との繋がりができ、デイサービスやデイケアに居場所(自分と繋がりがある場所)ができます。

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	/	●	●	●	/
14:00~17:30	●	●	/	●	●	●	/
17:30~20:00	/	/	/	/	●	/	/



〒520-0832 大津市栗津町2-65第2久下ビル1F
■ 077-511-9119 ■ 077-511-9118
さくらいクリニック 石山 検索 駐車場 / 駐車数8台
取材スターファクトリー ☎06-6534-6733



脳の疾患に強いクリニック
神経内科・内科

さくらいクリニック

初診の方はお電話で
ご予約ください。

クレジットカード
ご利用いただけます